

ご いん
誤 飲

意識は
ありますか？

ない

救急車を呼ぶ！
119番


ある

飲んだものはどれですか？

何を飲んだか
わからない

- ボタン電池
- 硬貨
- 灯油
- ベンジン
- 除光液
- マニキュア
- 洗剤
- 漂白剤
- しょうのう (樟脳) など
(しょうのうは防虫剤などに使用されています。)

- たばこ
- ホウ酸団子 (ゴキブリ用殺虫剤)
- ナフタリン
- パラジクロルベンゼン
- 大量の医薬品 など
(ナフタリンやパラジクロルベンゼンは防虫剤などに使用されています。)

- 化粧品
- シャンプー
- 芳香剤
- せっけん
- クレヨン
- シリカゲル (乾燥剤)
- マッチ
- 粘土
- 保冷剤
- 植物活性剤 など

吐かせてはいけません

すぐに吐かせましょう

経過を観察しましょう

すぐに医療機関を受診！


症状が大きく
変わったら

のどに異物がつまった



しゅしょうきぶ
手掌基部

乳児の場合
(1歳未満)

※意識があるときのみ

うつぶせにした体を片腕に乗せ、指であごを支える。太ももに腕をのせ、頭を下げ、背中の中を手掌基部でたたく。頭をたたかないように指を曲げる。

のどに異物がつまったら

小児の場合
(1歳以上8歳未満)腹部突き上げ法
(ハイムリック法)

正面



側面



こどもの背後から腕を回し、片方の手で握りこぶしをつくり、上腹部（へそのすぐ上でみぞおちより下方の位置）に当てる。他方の手で握りこぶしを握り、すばやく手前上方に向かって圧迫するように突き上げる。

※乳児には腹部突き上げ法を行ってはいけない

背部叩打法



抱きかかえ、頭を低くして、背中をたたく。



太ももで支え、頭を低くして、背中をたたく。



一方の手でからだを支え、頭をできるだけ低くし、背中をたたく。



横向きにして肩を支え、背中をたたく。

家庭での対応

- ★受診するときに同じ物や容器があれば持っていく
- ★異物が口の中に見えるときは、指をほおの内側に沿って差し入れ、詰まっているものをかき出してください
あわてて奥に押し込まないように注意



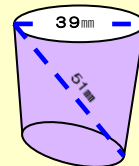
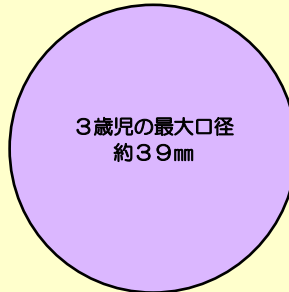
注意!

誤飲・窒息を防ぐために

3歳児の口を開けた時の最大口径は約39mm、のどの奥までは約51mmあります。この値を誤飲防止の目安にしましょう。

右図は3歳児の口径を表しています。この円の中に入るものは誤飲して窒息のおそれがあります。

3歳児の最大口径
約39mm



赤ちゃんや小さなこどもは手にしたものをすぐ口に入れてしまいます!

- ★たばこ、硬貨などの小物は赤ちゃんの手が届かない高さに置くように
- ★窒息のおそれのある食品や乾いた豆類（ピーナッツなど）は与えないように